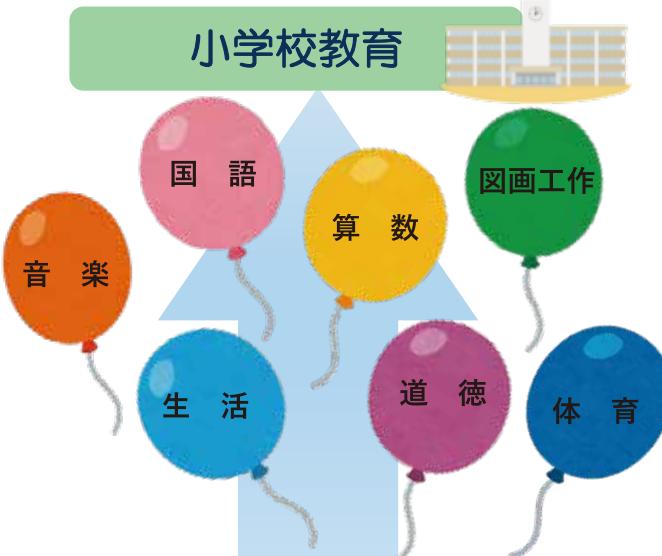


「遊びを通した学び」から 「教科等の学習」へ

小学校教育



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 幼児教育と小学校教育で共有

なんの虫だろう。
調べてみよう。

月には、本当
にうさぎさんが
いるのかな？

たくさん・
少し・同じ、
5個ずつ。

- 砂場で夢中に
なって遊ぶ
- 虫や花、野菜
に関心をもつ
- 公園や原っぱで
元気にかけ回る

- 絵本や物語の
世界に没頭
- 月や星などの
自然の不思議
を感じる

- 折り紙や工作、
積み木で時間
を忘れて遊び、
数量や図形
などに興味を
もつ

遊びを通した楽しい学び

幼児教育

家庭教育は、全ての教育の出発点

家庭生活の中で、子どもは、気付かないうちに日々成長を重ねています。

ご家族は、子どもの育ちに願いを持ちながら、あせらずゆっくり子どもと関わっていきましょう。

★「今日はどんなことが楽しかった？」など子どもから聞き、たくさん話しましょう。
★子どもと一緒に遊んだり、体を動かしたり、絵本を読んだりしましょう。

○少しの時間でも、親子の触れ合いの時間を大切にし、コミュニケーションをとることで、子どもは親の愛情を感じます。



★上手くできないことや、時間がかかることがあります、自分のことは自分ですることやお手伝いなど「やりたい！」気持ちを大事にしましょう。

○あたたかく見守って、「助かったよ」「がんばったね」など感謝の気持ちを伝えたり、がんばったことをほめたりしましょう。

★早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣を大事にしましょう。
★「おはよう」「ただいま」などご家族であいさつをしましょう。



○規則正しい生活リズムは、子どもが健やかに育つ第一歩です。
○ご家族の言葉づかいや振るまいが、子どものお手本となります。

お問い合わせ先
北海道教育庁学校教育局義務教育課
幼児教育推進センター
〒060-8544
札幌市中央区北3条西7丁目
電話 011-206-6345
E-mail kyoiku.yojo@pref.hokkaido.lg.jp



幼児期は 遊びを通して たくさん学ぶ！

子どもは、夢中になって遊び中で保育者や友達、地域の人々、様々な出来事と出会い、関わりを深めていくことで、たくさんのこと学んでいます。

幼稚園・保育所・認定こども園などの幼児教育施設では、「遊び」を通して、子どもたちの「知りたい」「やってみたい」という思いを大切に教育・保育を行っています。



幼児教育は、幼児が生活する全ての場において行われています。

家庭・地域社会・幼児教育施設が一緒になって、子どもたちの「生きる力」の基礎を育てましょう。

北海道・北海道教育委員会